

日吉台三丁目自治会防災専門部会

災害時の生活用水の確保へ

災害用井戸を設置

日吉台三丁目自治会防災専門部会では、「自らの安全は自ら守る（自ら取り組む）」ため、防災専門部が中心となり有志を募り、防災用井戸を日吉台第5公園に設置しました。今回はその取組について、インタビューしましたのでご紹介します。



なぜ、井戸を設置することにしたのですか？

住んでいる地域で、過去に何度か停電に伴う断水が発生しました。その時に、飲料水は購入することができましたが、トイレ等に使用する生活用水が確保出来ず、非常に不便な思いをしました。そこで、自治会内で話し合い、「防災用の井戸を設置してはどうか？」という話になりました。



自 分達で、井戸を掘ったと伺いましたが？

平成31年4月に、自治会の防災専門部会が中心となり有志を募り、井戸掘りを始めました。また、自治会の予算に負担を掛けずに実施したかったため、会員の飯島さんから「上総掘り（※）」という井戸掘りの技法があることを聞きました。業者などに依頼せず、自治会員の手で井戸を掘削することを決めました。

※「上総掘り」とは、千葉県の上総地方で考案された井戸の掘削技術で、細長い鉄管と地中の孔に吊す竹製のヒゴを用具とし、用具の自重を利用して人力を頼りに掘り進み、地下水を掘り当てる技術。

完 成するまでに大変だったことなどは？

月に2回、10人程の会員が集い、1日に10～30cm程度井戸を掘り進め、令和3年12月に、念願の井戸が完成しました。工事に携わった会員は、高齢者ばかりでしたが、みんな笑顔で、楽しみながら作業を続けられました。

また、新型コロナウイルス感染症のため、作業が予定通りには進まなかったことや、「上総掘り」は、泥や土を掘削するのが得意としていますが、砂の掘削は不得意であることから、砂の層を掘るのに苦労しました。



今 後の予定などは？

この井戸は、「災害時のみに使用する生活用水」用の井戸となり、泥抜きなども必要なので、自治会で管理することになります。

また、平時は、地域の子供たちに手動ポンプで井戸水の汲み上げを体験してもらおうなど、防災教育の一助に繋がれば幸いです。

※写真一部提供：日吉台三丁目自治会防災専門部会

■防災用の井戸を掘る場合でも、法令等による規制などがあります。詳しくは問い合わせてください。

問 防災課 ☎ (93) 1114